

D. A. F. 鳴高！ ～保護者の皆さまへ校長メッセージ～

鳴尾高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

11月号

IF YOU DON' T LIKE SOMETHING, CHANGE IT.

「坂本ですが？」(全4巻・佐野菜見 著)は県立学文高校を舞台に、入学早々学校中の注目を集め、一挙手一投足がクールでクレーストな1年2組 坂本のスタイリッシュな学園生活を描いた漫画です。2巻では角刈りの体育教師・角田や2年生をしめるカリスマヤンキー・8823、3巻では底知れぬ残酷さを持ちヤンキー達さへも恐れている大物3年生・深瀬が登場し、次々と挑まれる戦いをスタイリッシュに解決していく爽快さが「坂本ですが？」の魅力です。4巻での卒業式のシーンと共に、坂本が去って行く別れのシーンまで最後まで引き込まれていきます。作中に登場する県立学文高校は鳴尾高校をモチーフに描かれていて、度々登場する旧体操服(現在の2年生までが使用)や旧制服は現在開催中の「佐野菜見展」でも展示されています。ぜひこの機会に「坂本ですが？」を手にとっていただき、展示会場へも足をお運びください。

「佐野菜見展」西宮会場

2024.10.30(水)～

11/10(日)(休館日11/4月)

午前10時から午後6時まで

西宮市立市民ギャラリー

(第3・第4展示室)にて

絶賛開催中です。



坂本の登校シーンでの体育教師・角田との戦い(2巻、44ページ)

【鳴高トピックス】 ※詳しくはHPをご覧ください

back number

☑体育大会

(R6.10.2 水)

今年から生徒会種目として障害物リレーを実施！盛り上がり 있었습니다！

☑英語スピーチコンテスト阪神大会

(R6.10.12 土)

国際文化情報学科2年生3名が出場し、第2位&第4位に入賞する大快挙！11月2日(土)に実施される県大会に出場し、次は全国大会を目指します！

☑第2回学校説明会、English Fair

(R6.10.26 土)

鳴高生が中学生目線で説明内容を考え、鳴高生の言葉で説明する、生徒が主役の学校説明会&English Fairを実施！

☑国際文化学科、総合人間類型の様々な特色あるプログラム

future

☑公開授業週間

(R6.11.11月～11.15 金)

☑レシテーションコンテスト(学科1年)

<質問コーナー>

【Q】「ビックリするぐらい静かな授業でした。」これは年度途中で短期間、非常勤講師で来てくださった先生からの授業の感想です。これを聞いて、校長はどんな感想をもったと思われますか？

【A】答えは「残念」です。今の3年生のお子様は1年生のときからスタートしている「新学習指導要領」における授業は、自らの生き方を選択できる力を育むために、授業を受けているお子様を主語に展開していきます。ならば、当然、授業を受けている鳴高生のみなさんはイキイキと目を輝かせながら、ワクワクと頭をフル活動させ、思考し、判断し、表現する。そして、主体的に学びに向かっていくはずで、「ビックリするぐらい静かな授業」なんてありえないというのが正直な感想です。「令和の日本型教育」というワードをご存じでしょうか？そこで大事になってくるキーワードが「個別最適な学び」と「協働的な学び」です。鳴尾高校ではスタディーサプリ(スタサブ・6,160円/一人)を導入し、今年度からは「ロイロノート」(R6は無償)の活用も始まりました。もちろん、BYODでタブレット(61,600～70,950円/一人)を活用した授業も3年目。「ビックリするぐらい静かな授業」の原因は私たち教員にあります。お子様が主語になる授業を目標にどう授業改善を図っていくのが課題です。

公開授業週間の期間中は、保護者の皆さまにご来校いただき、自由に授業の様子を見ていただける機会となっております。ぜひこの機会に鳴尾高校の学びの様子を見ていただき、ご意見をいただければ幸いです。